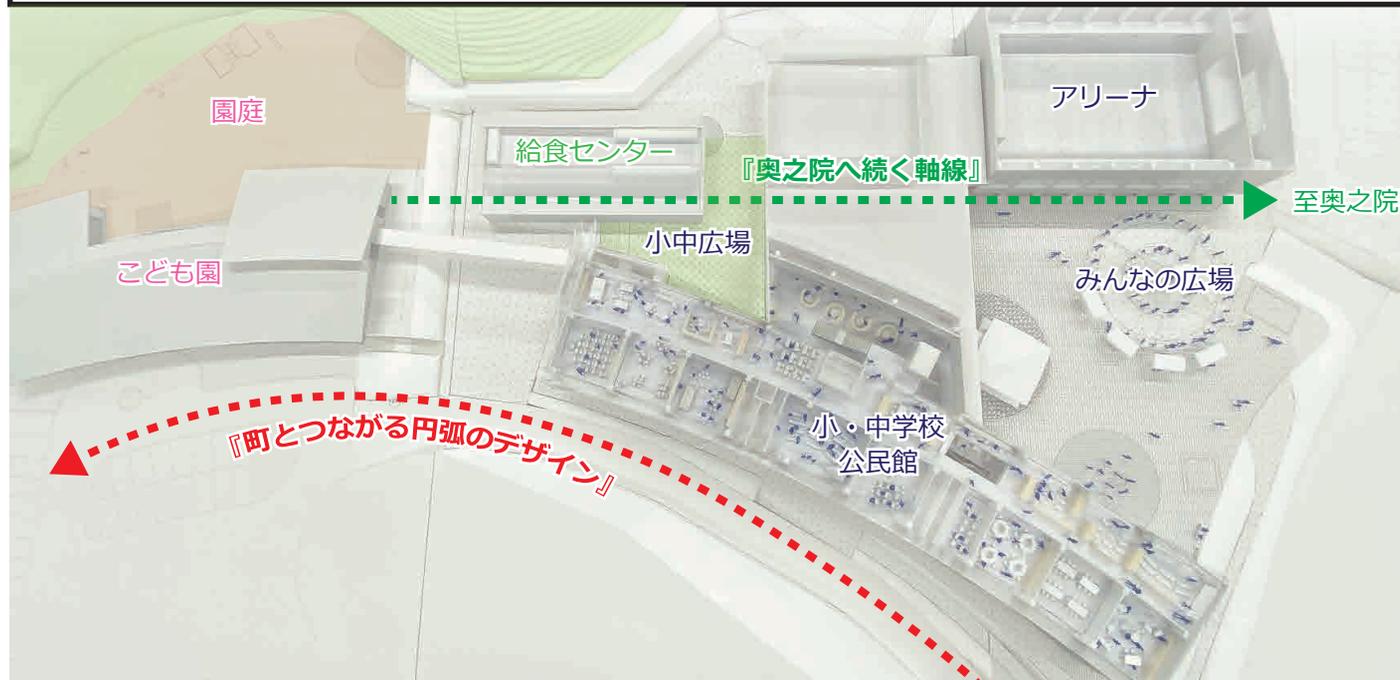


# 『高野町学びの交流拠点のさらなる魅力化』 に向けて具体的な意見を交換しよう！

Vol.3



開催日：2021年4月14日(水)

時間：午後6時30分～8時30分

参加者：約30名

会場：高野町公民館2階 大会議室

## 📖 当日のプログラム

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1. 教育長ごあいさつ      | 4. グループワーク |
| 2. 大西康伸氏によるレクチャー | 5. 発表      |
| 3. 前回までの振り返り     | 6. おわりに    |

## グループワークテーマ

『学校の計画案を理解し、さらなる具体的な利用方法や運営方法について話し合おう！』

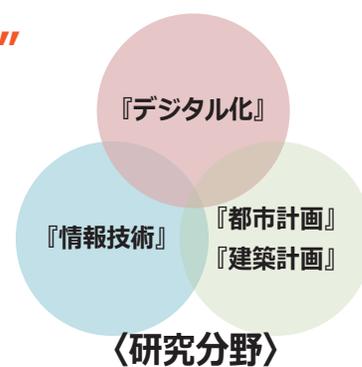
# 1. 『想いを未来につなぐ建築・都市のVR』



## “レクチャー 特別講師”

熊本大学大学院  
先端科学研究部(建築系)  
准教授

おおにし やすのぶ  
**大西 康伸 氏**



### 〈レクチャー概要〉

- 施設づくりにおけるVR・ARの活用 -

#### 『町民の皆様と共に育む施設づくり』

持続可能な施設づくりに向け、建物完成までに施設内外のイメージを共有し、各諸室の利用方法や施設の運営方法等を具体的に議論するプラットフォームを構築。



〈BIM・VR等を用いた施設利用イメージの共有〉

## 2. 各チームの討論内容の振り返り

〈施設の運営・具体的な活動内容について〉

### 『さくらチーム』

#### 具体的な活動について

##### ◆施設全体

- ・窓が多く、明るいのは良いが、冬季は非常に寒くなるため、温くなる工夫をしてほしい

##### ◆WC

- ・多世代が施設を利用するため、それぞれの年代に合わせた便器の仕様にする必要がある

##### ◆トレーニングジム

- ・もう少し大きくても良いのでは？

##### ◆プール

- ・冬季の利用方法も検討するべきでは？  
(例)：卓球、バドミントン、砂場、木育プール

##### ◆小中広場

- ・可能であれば照明等で明るくして欲しい
- ・屋根もあればよいのでは？

##### ◆多目的スペース

- ・北側採光となるため、照度が心配

##### ◆アート&クラフトエリア

- ・間仕切りはないのか？
- ・広すぎると冷暖房が効きにくいのでは？

##### ◆中学校ホームベース

- ・生徒の自立を促すので良いと思う

##### ◆屋外施設

- ・外部の水栓もお湯が出るようにしてほしい



### 『ひめしががチーム』

#### 運営の募集方法・サービス内容

##### ◆人材バンク登録による募集

##### ◆高野山ネットワーク

(真言宗本山、高野山のファンの協力)で、アスリートやプロフェッショナルな方々に来訪いただき特別授業を行なっていただく

→児童・生徒の**才能を発掘**

##### ◆行事やイベント(例えば、キッズニア高野山)など児童生徒が運営に関わる体制づくり

→"ありがとう"、"おいしいね"などの言葉を頂き**達成感や喜び**を感じてほしい

##### ◆町民が主体となり、各々が得意なことに対して、先生として登壇→地域と学校の交流を促進

##### ◆キャッチフレーズが必要

例1)『毎日が学習発表会』

例2)ま・・・まごころで

な・・・なかまと

ぼう・・・ぼうけん

##### ◆これまで出てきた様々なアイデアを実現するため開校を待たずして、町として運営体制を今から構築していくべき。

#### 具体的な活動について

##### ◆英語教室

- ・児童・生徒・親とみんなで楽しむ英語教育
- 国際都市として海外の観光客への街案内など、誰もが**できる町**にする

##### ◆体育

・体育協会と学校が連携→学校体育のカリキュラムにはないスポーツも、町民と学び、遊べる体制

→**興味の選択肢が増え、将来の可能性を広げる**

##### ◆だんだん畑

- ・高野町で育つ野菜を育て、食育へ繋げる
- ・育成から販売までを通した職業体験の場
- ・高野マルシェの開催
- ・プロのシェフと高野町独自の料理を研究・開発
- 新たな価値を創出**

##### ◆大会議室・みんなの広場

- ・地域の踊りを学校で学び踊れるように



## 『もみじチーム』

### 具体的な活動について

#### ◆みんなの広場

- ・屋外にも発表のスペース
- ・神谷地区のコーヒーフェア等のイベントを開催
- ・高野町の文化祭を開催

#### ◆大階段

- ・最も開放的なエリアとなるが危険なものが置かれることはないか
- ・安心と安全をどのように確保していくのか？

#### ◆体育館

- ・スポットライトを設置
- 屋内イベントの開催

#### ◆クッキングスタジオ

- ・有料の料理教室をイベント化
- (例) 講師としてプロの料理人を招く
- ・喫茶コーナー
- 高野町内にある喫茶店が流行らなくなったら困る

#### ◆キッズコーナー

- ・託児所として機能
- 常駐で面倒を見る人は必要？
- 施設内の活動を相互に関連付け、施設利用を促進

#### ◆WC

- ・施設全体的にトイレを充実させて欲しい



## 『まんさくチーム』

### 運営の募集方法・サービス内容

- ◆既存の町のネットワークの利用  
(例) コーラス
- ◆人材登録制度の導入
- ◆ネットで気軽に申し込み可能な体制づくり
- ◆活動推進組織の設立
- ◆町民の皆様はシャイな人が多いため他薦で募集
- ◆意見箱の設置
  - 常に利用者の声を聞き、時代に合った運営づくり
  - 持続可能な施設づくり

- ◆町の行事は中学生が企画→社会勉強へ繋がる
- ◆送迎バス・高野町版乗合サービス
- ◆Wi-Fiの完備
- ◆VRやIOTの活用
- ◆活動の内容次第では資格もしくは一定の選定基準が必要なのは？  
(例) プールの監視員：救命能力の有無
- ◆施設運営に係る人々の責任範囲の設定
  - ・各活動の安全面の明確な保証の有無

### 運営の募集方法・サービス内容

- ◆教育委員会を運営主体としたラジオ体操
  - ・特定の期間だけでなく、毎日みんなの広場でラジオ体操
  - スタンプを集めて景品をプレゼント
- ※他の活動で制作したモノや施設利用のサービス券等施設に関連した景品を贈呈
  - 施設内の活動を相互に関連付け、施設利用を促進
- ◆カフェ
  - ・学校施設への臭気の問題は生じないのか？
  - ・地元食材の販売やPRも行えたらいいな
  - ・定期 or 不定期の運営？

- ◆体育館
  - ・小さくても良いので観客席が欲しい
  - ・避難所として利用可能か？
  - 施設内での日常の多様な活動を活かした“楽しく避難できる”場所にしたい
  - ・プールシャワーを避難時に利用可能にして欲しい
- ◆アート&クラフトエリア
  - ・製作物をフリマで販売
  - ・手芸クラブ時にミシン等機器類を使用したい
- ◆高低差のある段差
  - ・冬季スポーツとしてノルディックスキーを実施



## 3. ファシリテーターの感想

### 『さくらチーム』

感染症対策の下、参加者間の距離は離れていても、さらに踏み込んだ具体的な施設の使い方についての議論ができました。町民の皆様は既に多くの地域開放・地域連携の取り組みをされていたため、誰もが利用するトイレの仕様や高野町特有の寒さへの対策、開放性及びセキュリティの確保等の基本的な整備が、誰もが利用したくなる施設づくりに必要不可欠であると共有ができたのではないかと思います。

予定しているWSは今回で最後となり大変残念ではありますが、より魅力的な施設整備につながるたくさんの意見交換ができ、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。

### 『ひめしゃがチーム』

計3回のワークショップお疲れ様でした。とても前向きに地域と学校の交流が議論でき、さらに踏み込んだ具体的なアイデアや課題点などがたくさん出てきて、回数を重ねるごとに良くなっていくことを感じました。町としてどう運営していくか・体制づくりまで議論が及び、できあがった後の楽しく有意義な使われ方が想像できました。いただいた貴重な意見をできる限り反映した設計を行っていくとともに、これからもご意見・ご指導いただきながら、完成まで一緒につくりあげていければと思います。ありがとうございました。

### 『もみじチーム』

計3回のワークショップへのご参加ありがとうございました。ファシリテーターとして至らない箇所が多々あったかと思いますが、ワークショップの中の参加された町民様にご助力頂き、有意義な時間を過ごせたかなと思います。ワークショップの主旨を十分に理解されて、ベクトルの違う話になりそうな時に町民様同士でそれは議題とは違うよ。など協議されており、凄く助かった部分でもありますし、この新しい施設を自分たちが有効に使うためにどんな意見を言おうかという姿勢や見て取れて凄く感銘を受けました。

引き続き皆様と対話を重ねながら、交流拠点が出来るまで、プロセス段階でも定期的にイベントを行って身近な交流拠点としてあり続けたいと思いました。ありがとうございました。

### 『まんさくチーム』

不安の募る社会情勢の中、ワークショップへのご参加ありがとうございました。各ワークショップテーマは異なりましたが、皆様のご意見には一貫して、高野町独自の魅力的な交流施設の実現に向けた責任のある強い意志を感じ取りました。それらの中に、上記の不安を払拭する確かな希望を見ることができました。当施設の主役は皆さまです。また、建物の完成はゴールではなくスタートです。完成までの間、何らかの形で引き続き皆様と対話を重ねながら、良い形でスタートを切れるように努めて参りたいと思います。ありがとうございました。

## 4. ワークショップ振り返り



ワークショップでは  
毎度白熱する議論が  
繰り広げられ、  
皆様の当事業に対する  
熱い想いを強く  
感じ取りました。

この度、数多くの町民の皆様ワークショップにご参加いただき、心より御礼申し上げます。当ワークショップを経て、様々な改善点・課題点が浮かび上がりました。頂いたご意見を少しでも多く取り入れ、魅力的な学びの交流拠点『高野町モデル』の実現に向けて進めていきます。



主催 : 高野町  
事業者 : 松井建設株式会社  
: 安井建築設計事務所